

町制施行55周年記念
南知多町勢要覧

南知多町



太陽と
海と
緑豊かな
まちづくり



南知多町制施行55周年

目次

町長あいさつ

総合計画

南知多魅力発見

輝く南知多の春

輝く南知多の夏

輝く南知多の秋

輝く南知多の冬

町の特産品 ミーナの恵み

地域の歴史自慢

内田佐七家

内田佐平二家

町のプロフィール

町のあゆみ

町公式キャラクターの紹介

町章・町の花・木・町民憲章

1

2

4

6

8

10

12

14

16

18

19

20

22

24

25

町長あいさつ



見つけてください あなたの南知多
開けてください あなたの夢への扉

南知多町は昭和36年に内海町、豊浜町、師崎町、篠島村、日間賀島村が合併して誕生し、平成28年6月1日に町制55周年を迎えました。

人と自然、歴史と文化の豊かな本町は、農・漁業と観光が盛んな町です。新鮮な農・水産物の生産地として、また、海の幸、山の幸を活かした東海地区有数の観光地として発展してまいりました。

この活気ある地場産業や、温暖な気候と優れた自然景観、深い人情に育まれ、明るく、楽しく、いきいきとした子育て、交流、生活の環境を提供し、日本一住みやすく、魅力あるまちを目指してまいります。

南知多は、自然豊かな知多半島の先端にあって、特色ある文化と生活様式を持つ町です。きっとあなたの宝物を見つけられると信じています。この町勢要覧がその入口となってくれることを願っています。

南知多町長

石黒 和彦

太陽と海と緑豊かな まち南知多

1

住みよい
暮らしを支える
まちづくり

2

快適で
安全な
まちづくり

6

住民と行政の
協働による
まちづくり

3

いきいきと
暮らせる
健康・福祉の
まちづくり

5

心豊かな
人を育む
まちづくり

4

活力をともに
生み出す
まちづくり



基本目標 1

住みよい暮らしを支えるまちづくり

住民の生活や地域経済を支えるため、良好な市街地整備や道路・交通ネットワークの充実を図るとともに、より快適な暮らしを実現するための生活基盤の整備を進め、住みよい暮らしを支えるまちづくりをめざします。

基本目標 2

快適で安全なまちづくり

身近な自然環境を保全しつつ、ごみの減量や分別収集による資源の有効利用と環境美化の推進により、環境に負荷を与えず、誰もが快適・安全に暮らせるように、公園・緑地の整備、災害対策や交通安全・防犯対策の強化に努めるなど、快適で安全なまちづくりをめざします。

基本目標 3

いきいきと暮らせる健康・福祉のまちづくり

少子高齢社会に対応していくため、保健、医療、福祉を強化し、生涯を通じて健康な生活を送ることができるようしていくとともに、地域で互いに助け合い、支えあう福祉社会の実現に向けたいきいきと暮らせる健康・福祉のまちづくりをめざします。

基本目標 4

活力をともに生みだすまちづくり

農業、水産業、商工業、観光の振興を図るとともに、各産業間の連携を強化、付加価値の向上など、地域の特色や資源を生かした活力あふれる地域産業の振興や新たな産業の創出を図るなど、活力をともに生みだすまちづくりをめざします。

基本目標 5

心豊かな人を育むまちづくり

子ども達が主体的に活動できる学校づくりと、生涯学習・生涯スポーツ・家庭教育力の充実に努めるとともに、町の伝統・文化の大切さを伝えることにより、南知多町に愛着と誇りの持てる次代を担う人材や、心豊かな人を育むまちづくりをめざします。

基本目標 6

住民と行政の協働によるまちづくり

住民の多様なニーズに対応するため、ボランティア活動の促進や住民の自主的なまちづくり活動の促進を図るとともに、男女共同参画社会の実現、交流活動の充実など、住民と行政の協働によるまちづくりをめざします。

Walk

南知多町の
四季を
巡る旅へ



「南知多」と言われて何を思い浮かべますか？
海水浴？温泉？海鮮料理？お祭り？
そう、南知多は一言では表せない魅力たっぷりのまちなんです。
そこで、四季ごとに観光、祭り、山の幸、海の幸を紹介します。
南知多の魅力を発見してください！

南知多 魅力発見！！



Minamichita



観光&祭り

町の特産物を紹介！

地域の歴史自慢

内海・豊浜・師崎・篠島・日間賀島

明治時代の生活に触れる

尾州廻船内海船船主 内田佐七家・内田佐平二家





潮干狩り 春の行楽シーズンには潮干狩りを楽しむことができます。味噌汁や酒蒸しなどでおいしく食べることができます。

観光 & 祭り



内海春祭り

4月の第1日曜日に開催される内海地区の春祭りには東端、吹越、岡部、馬場地区の4台の山車が曳かれお囃子とともにからくり人形が披露されます。



乙方熊野神社祭り

豊丘地区にある熊野神社で毎年春に開催され、巨大な竜を使った舞が奉納されます。太鼓やどらの音が響く中、神社の境内をうごめくように動く竜の姿はとても勇壮です。

うま
め
の
ご
み



メバル

その身は、脂肪が少なく
淡白。煮つけなどにして
食べるのが一般的です。



イカナゴ

厳しい資源管理のため、春先
の一時期しか獲れない魚で
す。多くは佃煮などに加工さ
れます。



キス

上品な白身で、脂肪が少ないのが特徴
です。主に天ぷらや塩焼きなどで食べられま
す。

輝く、
南知多の
春



たまねぎ

中央アジア原産。知多
地域では明治25年に北
海道から種子が導入さ
れたことが始まりとさ
れています。



フキ

原産地は日本
で、知多地域は
フキの日本一の
産地として知ら
れています。

やま
め
の
ご
み



ビワ

古代より親しまれ、5~6月につける橙色の実が季節
を感じさせます。俳句の季語にもなっています。



豊浜鯛まつり 豊浜地区で行われる、豊漁と海の安全を祈る祭礼。全長10～18mにもなる竹と木材を組み合わせ白木綿を巻いて作った巨大な鯛がまちなかを練り歩く勇壮なまつりです。

観 祭&光 り



篠島ぎおん祭り

7月の第2土曜日に「ぎおん祭り」、その翌日に「野島祭り」が行われます。船団パレードと花火大会が目玉の祭りです。



イルカに会える日間賀島

毎年6月～9月にかけて南知多ビーチランドからイルカが日間賀島にやってきます。

海水浴 毎年6月末に海開き式が行われ、町内5箇所の海水浴場で海水浴が始まります。各海水浴場でイベントが行われにぎわいを見せます。



うま
め
の
み



マアナゴ

淡白な味わいながらも、程よく脂が乗っており、蒲焼きや天ぷら等で食べられるのが一般的です。



スズキ

夏を代表する出世魚です。この時季のスズキの身はよく太っていて非常に美味です。



マダコ

刺身や酢の物、塩ゆでなど、調理方法が多いうえに、栄養も豊富で、疲労回復や肥満防止などにも効果があります。



スイートコーン

糖度にこだわった南知多の代表野菜。塩茹ではもちろん生食でもおいしく食べられます。



イチジク

原産地はアラビア南部で、不老長寿の果物とも呼ばれています。甘味が強く、少々酸味と独特の風味があります。

やま
め
の
み



カボチャ

ウリ科カボチャ属のつる性植物の総称。ひょうたんのような形をしたバターナッツもカボチャの一種です。

輝く
南知多の
夏



おんべ鯛奉納まつり 古来伝わる篠島の伝統的な行事で、年間508尾の干鯛を3回に分けて伊勢神宮へ奉納します。

観 祭&光 り



みかん狩り

10月上旬から12月中旬までみかん狩りを楽しむことができます。温暖な気候に育まれたみかんは、甘みと酸味のほどよいバランスで美味しく食べることができます。



師崎大名行列

羽豆神社の祭礼で、本殿とお旅所の間を神様がお渡りする際に、山車の行列がお守りします。お旅所で神事が行われます。

輝く、南知多の秋

うまのめいみ



サバ

秋に獲れるものは特に脂が乗っています。身が傷みやすいので、主にしめ鯖や塩焼きなどで食べられます。



マダイ

日本ではお祝い事に欠かせない魚です。その調理方法は刺身や塩焼き、鍋物など多岐にわたります。



シラス

全国でも有数の漁獲量を誇り、その多くは佃煮やちりめんじゃこなどに加工され食卓に並びます。

秋



米

南知多町で多く栽培されているコシヒカリはしっかりとした旨みと粘りが特長です。



シンビジウム

日本では最もポピュラーな洋ランの花です。熱帯アジアでよく見かけます。原産地は中国や台湾、日本、韓国、アメリカなどです。花はよく咲き、鑑賞価値が高いです。

やまのめいみ



ミカン

ミカン科の常緑低木。秋が訪れると南知多町を鮮やかなオレンジ色に彩ります。

デンマークカクタス

シャコバサボテンとも呼ばれ、南知多町は全国でも有数の産地です。初秋から冬にかけて、つぼみの状態でも出荷されます。





師崎左義長まつり 室町時代から続くといわれ、旧暦1月15日（現在1月の第4日曜日）に大漁祈願をかけた大のぼりを正月飾りやお札とともに勇壮に焼き尽くす行事です。

観 祭&光 り



日間賀島さわやかジョギング大会

順位は気にしないで、自分のペースで磯の香りと風景を楽しみながらゴールを目指します。



いちご狩り

冬から春にかけてはいちご狩りがおすすめ！甘くて美味しいいちごに旅の疲れも吹き飛びます！

うま
め
の
ご
み



ヒラメ

冬になると最も脂が乗りかつ身が引き締まっています。寿司ネタでは「えんがわ」として親しまれています。



カサゴ

旬は冬ですが、年間を通して味が落ちることはありません。主に、唐揚げや塩焼きなどで食べられます。



トラフグ

調理には免許が必要ですが、その味は淡白かつ上品なもので、刺身や鍋物などで親しまれています。

輝く、南知多の

冬



いちご

バラ科の多年草で、ビタミンCが豊富に含まれています。新鮮ないちごが食べられるいちご狩りは、毎年多くの観光客が訪れています。



サニーレタス

リーフレタスのうち、特に葉が紅色から紅褐色がかったものをいいます。



キャベツ

葉はやわらかく、癖のない味なのでさまざまな料理に使われる野菜です。

やま
め
の
ご
み



ブロッコリー

アブラナ科の緑黄色野菜。花を食用とするキャベツの一種が品種改良されて現在の姿になったとされています。

ミーナの恵み 商品紹介

ミーナの恵みって？

南知多町産業振興協議会は、厳しい基準をクリアした町産品を南知多ブランド「ミーナの恵み」に認定しています。ここでは、その「ミーナの恵み」認定品を紹介します！

3つの認定ポイント

- ▶ 南知多町らしさ 南知多町の気候・土壌・素材等が活かされている
- ▶ 信頼性 高品質・安全性・客観的な評価
- ▶ 将来性 熱意を持って事業を行い、経営戦略が明確

① 南知多もぎたてみかん酒

南知多産みかんを100%使った香り豊かな甘酸っぱいお酒です。



② 海陽とまとけちゃっぷ

ハイポニカ農法によるトマトを贅沢に味わえるフルーティーなケチャップです。

問い合わせ

①南知多町産業振興課 (Tel. 0569-65-0711)

②THファーム (Tel. 0569-65-3035)

③ 特上しらす、特上こうなご、ワンフローズンしらす

国際基準に沿ったマリンエコラベルジャパンの認証を受けた鮮度抜群の特上品です。



④ ミーナコーン

朝採りにこだわることで高い糖度が持ち味。南知多の初夏の代表野菜です。



⑤ リッコのハーブティー

農薬・化学肥料を一切使用せず栽培した安心・安全な自家製ハーブのお茶です。



⑥ ジャンボ黒ニンニク

手のひらサイズの有機栽培ジャンボニンニクを熟成させることで、糖分が2倍、ポリフェノールが1.5倍。プルーンのような甘さと食感を持つ黒ニンニクです。

問い合わせ

③MELジャパン普及協議会（師崎商工会内）（Tel. 0569-63-0349）

④あいち知多農協南知多営農センター（Tel. 0569-65-0211）

⑤ハーブ農園リッコ（Tel. 090-8555-2307）

⑥いきな農園（ヤマセイ造園）（Tel. 0569-65-0475）

あなたコレ知っとおり？

地域の歴史自慢

内海・豊浜・師崎・
篠島・日間賀島

南知多町の歴史を紹介

内海

内海は江戸末期から明治初期にかけて、当時の物流の主役であった廻船（荷物運搬用の大型船）集団の拠点として栄えました。

「内海船（うつみぶね）」と呼ばれたこれらの船は、瀬戸内海から江戸にかけて広い範囲で活躍しました。



豊浜

現在の豊浜港にあたる場所は古くは「須佐（すさ）の入江」と呼ばれ、天然の良港として多くの船が出入りした景勝地です。千年以上前に編さんされた万葉集には、「須佐の入江」を詠み込んだ二首の歌が収録されています。



あちの住む 須佐の入江の 荒磯ありそ松
我を待つ兒らは ただ一人のみ
あちの住む すさの入江の こもり沼ぬの
あな息づかし 見ず久ひさにして

師崎

知多半島の最南端に位置する師崎は、海上交通の要衝でした。羽豆岬に位置する羽豆神社は白鳳時代に創建されたといわれ、社殿は時の権力者により改築を重ねられてきました。ウバメガシを中心とした社叢（しやそ）は、国の天然記念物です。



篠島

篠島は伊勢神宮と深い関わりを持ち、島内の神明神社の本殿は、伊勢神宮の遷宮で出た古材で20年に一度建て替えられます。また「御贄千鯛（おんにえほしだい 通称おんべ鯛）」と呼ばれる塩漬けの干鯛の奉納は、千年以上前から行われているとも言われます。



日間賀島

日間賀島では多数の古墳が発見されており、特に日間賀神社の境内には14基もの古墳が密集しています（北地古墳群）。古墳からは須恵器（すえき）、土師器（はじき）、金属製品（たがね）の他、だるま形石錘（せきすい）や鮫用の釣針のような島ならではの副葬品も出土しています。



尾州廻船内海船船主

内田佐七家

内海船の有力船主・2代目内田佐七による建造物。明治2年に建てられたことが、棟札等から推定されます。太平洋側に現存する廻船主の家屋の中でも大規模なもので、当時の船の建材の一部が残されています。日常生活のための「主屋」と冠婚葬祭など特別な時のみ使用された「座敷」を中心に、複数の建物で構成。平成20年に南知多町の文化財として指定されました。土・日、祝日に、隣接する内田佐平二家と合わせて一般公開されています。



内田佐平一家

内田佐七家の廻船業を助けた新家（分家）の家屋で、明治5年頃に建てられました。家屋内では南知多町指定文化財である「内海船および船道具資料」の一部や、江戸時代の船の設計図を基に作られた10分の1スケールの千石船（800石積）の模型など、廻船にかかわる多数の資料を見学できます。



南知多町のプロフィール

沿革

南知多町は、愛知県知多半島南部に位置し、半島の先端と沖合に浮かぶ篠島・日間賀島等の島々からなっています。

古くは、天然の入江を利用した良港に恵まれ漁業が発達し、江戸時代には東西海上交通の要衝の地として海運業も盛んとなり、町内にも多くの船主が千石船を有する程隆盛を極めました。現在においても、都市地域への生鮮な魚介類を供給する魚の町・漁業の基地として発展しています。また、農業も愛知用水の完成、土地改良・農地造成事業により、都市近郊農業地帯となっています。観光においては、三河湾国定公園、南知多県立自然公園に指定された自然環境に恵まれており、海水浴場や名所・旧跡、文化財、祭りなど豊富な観光資源を有しています。また、新鮮な活け魚料理を味わうことができ、漁業体験やイチゴ狩りなど体験型観光や海釣り、天然温泉が楽しめるなど四季を通じた観光地となっています。

位置と地勢

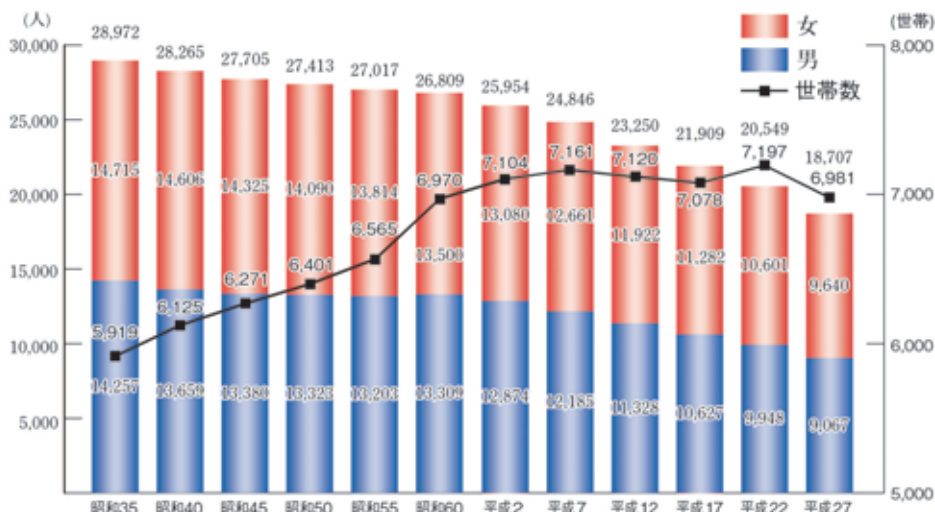
愛知県



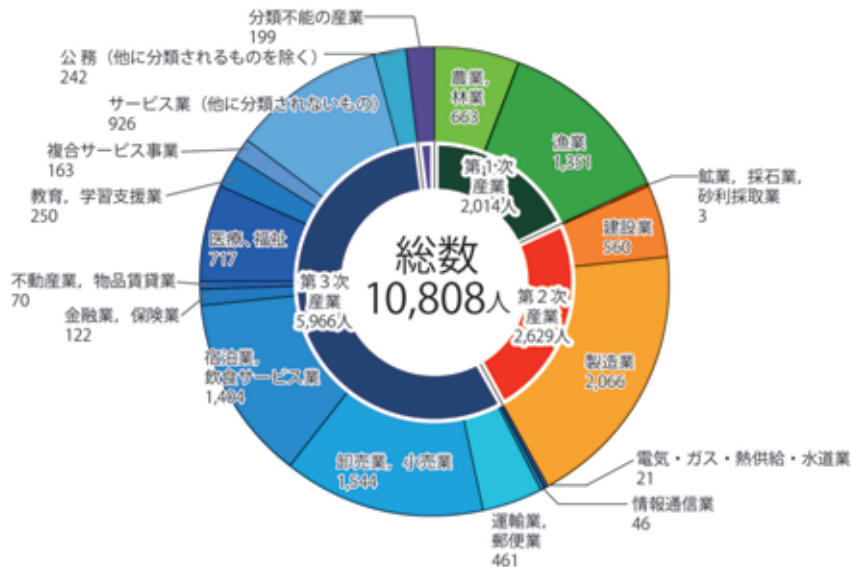
南知多町

面積：38.37km²
 東西最長：15.0km
 南北最長：12.1km
 標高：0～128m

人口と世帯数の推移



資料：国勢調査



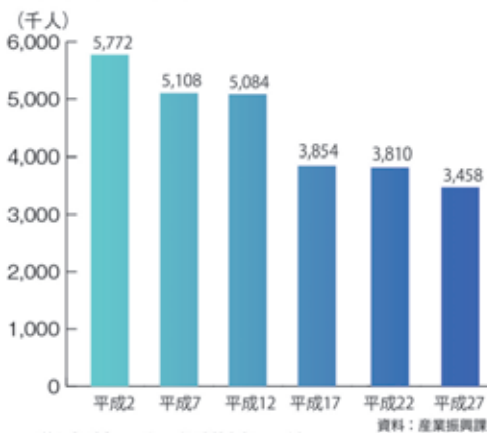
魚種別漁獲量（漁船漁業）

単位：t

区分	年	平成24年	平成25年	平成26年
総数		32,628	37,576	42,414
魚類	いわし類	14,219	22,880	23,912
	しらす	5,960	4,949	7,387
	あじ類	332	213	158
	さば類	144	109	247
	ひらめ・かれい類	116	98	117
	たい類	328	314	478
	すずき類	359	414	406
	いかなご	6,177	4,130	5,284
	このしろ	179	230	149
	あなご類	216	146	254
	ふく類	126	98	73
	その他の魚類	955	772	806
	水産動物類	えび類	394	215
かに類		212	170	127
いか類		339	334	390
たこ類		328	397	137
その他の水産動物類		359	223	319
貝類		あさり類	27	26
	その他の貝類	1,781	1,756	1,789
その他の海藻類	77	104	84	

資料：東海農林水産統計年報

観光客の推移



農家数・経営耕地面積（各年2月1日）

年	区分	農家数(戸)		
		総数	自給的農家	販売農家
平成12年		669	189	480
平成17年		672	272	400
平成22年		668	304	364
平成27年		607	297	310

年	区分	経営耕地面積 (ha) ※販売農家のみ			
		総数	田	畑	樹園地
平成12年		467	131	229	107
平成17年		386	120	187	79
平成22年		401	131	198	72
平成27年		342	106	173	63

資料：農林業センサス

南 知多のあゆみ

昭和36年

6月 内海町、豊浜町、師崎町、篠島村、日間賀島村が合併して、南知多町が誕生



昭和37年

2月 水道事業給水条例による営業開始

10月 離島簡易水道
5月 広報「南知多」創刊号発行
海底送水管工事竣工



昭和38年

4月 内海、豊浜、師崎、篠島、日間賀島消防団を統合して南知多町消防団となる
7月 公募により町章制定



昭和40年

2月 簡易水道事業を統合し上水道事業創設

昭和42年

1月 南知多町総合計画策定

昭和43年

6月 役場本庁舎竣工
建物面積3118㎡、鉄筋コンクリート地上3階、地下1階建



昭和44年

5月 南知多都市計画区域指定
6月 片名浦土地造成事業完了（新師崎）

昭和49年

4月 給食センター開所



昭和54年

3月 知多南部消防署舎竣工



昭和55年

6月 名鉄知多新線全線開通
6月 篠島開発総合センター竣工

昭和56年

3月 南知多町運動公園竣工
面積16398㎡



昭和57年

2月 師崎公民館竣工
鉄筋コンクリート3階建
面積610㎡

昭和59年

7月 南知多町文化協会設立
8月 南知多町保健センター竣工
鉄筋コンクリート3階建
1404㎡

昭和61年

7月 住民記録電算処理システム稼働
11月 第1回南知多町産業まつり

平成2年

4月 岐阜県八百津町と友好交流開始

平成3年

2月 南知多町総合体育館竣工
鉄筋コンクリート2階建
5050㎡



3月 南知多町観光案内所竣工

10月 第11回全国豊かな海づくり大会



平成5年

4月 長野県下諏訪町と友好交流開始

平成6年

8月 国営南知多開拓建設事業完了

平成10年

2月 知多南部衛生センター竣工
3月 知多南部クリーンセンター竣工

平成 11年 11月 南知多道路4車線全線開通

平成 13年 4月 離島水道事業を町水道事業に統合

平成 17年 3月 師崎港駐車場竣工

平成 22年 1月 空き家バンク制度創設

10月 海っ子バス運行開始

平成 24年 9月 篠島の矢穴石が名古屋城へ

平成 25年 8月 町産業振興協議会設立

平成 26年 3月 篠島渡船ターミナル「島の駅」SHINO JIMANO竣工



- 町の変遷 -



南知多町公式キャラクターの紹介



プロフィール

ミーナ (MIENA)

誕生日 平成13年6月1日

太陽の光あふれる明るく元気な南知多町をイメージして生まれた妖精です！ひまわりの様なかわいい笑顔で沢山のの人に南知多町の魅力を伝えたいと頑張っています。

～ミーナ元気になるれ♪～

ミーナ誕生秘話

町制40周年に誕生

平成13年度 キャラクター募集
ミーナデザイン 酒井 一さん (大井)

愛称「ミーナ」に決定 (公募による決定)

平成14年度「みなみちた」の「みな」から「ミーナ」とし、キャラクターの持つ元気で明るくはつらつとしたイメージから、南知多町の人々が「みな(皆)」そうあって欲しいという願いを込めて命名されました。

「ミーナ」の着ぐるみ完成

町制50周年記念の事業の一環として、着ぐるみを製作しました。

平成23年6月1日に行われた町制50周年式典において、初めて着ぐるみをお披露目しました。

南知多町をPRするため、各方面で活躍中！



町章

(昭和38年7月公募により制定)



「みなみ」の「み」を図案化し、平和と飛躍を象徴しています。

町の花・木



町の花／スイセン

12月から3月にかけて、白と黄色のコントラストで海岸を彩るスイセンは、南知多の冬の風物詩です。その美しさと薫り高さで親しまれ、昭和51年に町の花に制定されました。



町の木／ウバメガシ

土地が乾燥し、土壌が浅い知多半島南部はウバメガシの生育条件にぴったりで、町内各地で群生しています。昭和51年に町の木に制定されました。

南知多町民憲章

- みんなでまわりを守り、明るい社会をつくりましょう
- いたわりと感謝の気持ちで、素直な心を育てましょう
- 健康で明るく、規律ある生活を築きましょう
- 笑顔で話し合い、心のかよう家庭をつくりましょう
- かけがえのない自然を大切にし、住みよい町づくりに努めましょう

昭和56年6月1日制定



特別天然記念物コウノトリ「ゆめちゃん」飛来

このコウノトリは、平成27年10月に福井県越前市で放鳥されたうちの1羽で、同年の12月から平成28年の4月まで南知多町で滞在していました。

愛称は“ゆめちゃん”と言います。

まさに南知多町55周年の“ゆめ”を乗せてやってきました。

太陽と海と緑豊かなまちづくり

南知多町勢要覧 55周年（平成29年3月発行）

発行／南知多町 〒470-3495 愛知県知多郡南知多町大字豊浜字貝ヶ坪18番地
電話：0569-65-0711（代表） FAX：0569-65-0694 町公式HP：http://www.town.minamichita.lg.jp/
開庁時間：午前8時30分から午後5時15分まで 閉庁日：土曜日・日曜日・祝日・年末年始